

佐賀県立図書館からのお知らせ

佐賀県立図書館を利用する

県立図書館では、利用者みなさんの、**だれでも、いつでも、どこでも、なんでも**にお応えするために、さまざまな図書館サービスを提供しています。どうぞ、ご活用ください。

郵送で登録する



本をかりる際は、利用者カードが必要です。窓口での登録以外に、郵送でも登録ができます。

登録には、現住所・氏名・生年月日が確認できるものをご準備ください。

本をかりる・返す

貸出は1人15点以内、貸出期間は2週間以内です。(CD、ビデオテープはそれぞれ2点以内)

貸出期限を過ぎると、次の貸出に制限が生じますので、貸出期限内に返却してください。



貸出を延長する

貸出期限までに返却ができない場合、貸出期間内にお申出いただくと、その日から2週間、貸出期間を延長します。電話でも受け付けます。

ただし、延長は1回まで、予約が入っている場合は延長できません。

県立図書館以外の図書館などで、本を返す

県立図書館でかりた本を、県内公共図書館などの協力館の窓口で返すことができます。(CD、ビデオテープ、雑誌などは除きます)協力館については、窓口やホームページでご確認ください。

予約する

予約は、15点以内です。窓口で申し込むか、インターネットによる予約・貸出サービスをご利用ください。(要事前登録)

電話での予約は受け付けていません。



身体に障がいのある方へ 郵送貸出を利用する

県内在住で、身体障害者手帳をお持ちの方などに、本を無料で郵送します。

障害程度等級が、肢体不自由1級・2級、または、内部機能障害1級・2級・3級の方などが対象です。

調べものをする (レファレンス)

専用のレファレンスコーナーを設置し、専任の職員が調べもの、調査・研究のためのお手伝いをします。

本の所蔵などもお調べします。



商用データベースを利用する

調べものに役立つデータベースを導入しています。LexisNexis(判例解説など)、日経テレコン21、JRS経営情報などをご利用いただけます。

情報は印刷することができます。(有料)

インターネットを利用する

インターネットを利用して情報を閲覧することができます。1人1回につき30分間の利用ができます。



詳しくは、県立図書館の窓口におたずねください。インターネットをご利用の方は、県立図書館のホームページをご覧ください。

➡ <http://www.pref.saga.lg.jp/kentosyo/>

《問合せ先》 佐賀県立図書館 TEL0952-24-2900 FAX0952-25-7049

県立図書館ホームページ <http://www.pref.saga.lg.jp/kentosyo/> E-mail saga-kentosyo@manabisaga.jp

郷土資料の複製本やマイクロフィルムを公開しています

県立図書館では、「図書館先進県づくり」の一環として、歴史資料の収集、保存とともにこれらを広く一般に公開するための複製本の整備や目録の作成を進めています。

これによって、当館が所蔵、収集してきた多数の貴重な歴史資料が郷土資料室で自由に閲覧できるようになります。また、これまで以上に閲覧がしやすいように、目録を整備し作成しました。将来的には、ウェブ上での検索ができるように資料整備に努めていく予定です。

これまでに整備した歴史資料の複製物の一部をご紹介します。調べもの際には、ぜひご活用ください。

【複製本】

鍋島家文庫、龍造寺家文書、
佐賀県明治行政資料、
神代鍋島家文書（長崎歴史博物館蔵）、
諫早家資料（諫早市立図書館蔵） ほか

【マイクロフィルム】

鍋島家文庫

[右]郷土資料室内の複製本



本で見る佐賀

県立図書館で平成20年9月から平成20年11月までに受け入れた図書の中から、佐賀に関する本をご紹介します。

日本名城百選

村田 修三／監修
小学館／刊

城郭研究の権威が、城の設計プランである「縄張」を主な基準に、価値ある日本の100城を厳選して紹介している。県関係では、朝鮮出兵と近世大名創出の舞台となった肥前名護屋城（唐津市）や、石塁、土塁、横穴を用いた長大な防塁型ラインが特徴である勝尾城（鳥栖市）が取り上げられている。



全国五つ星の手みやげ

岸 朝子／選
東京書籍／刊

全国、北海道から沖縄まで、その土地に伝わる名菓や郷土菓子など、手みやげにぴったりの多彩なお菓子が写真つきで紹介され、また、商品の価格や販売店などのデータも掲載されている。県関係では、小城羊羹、丸ほうろ、さが錦、松露饅頭などが紹介されている。



空港・航空券の謎と不思議

谷川 一巳／著
東京堂出版／刊

燃油サーチャージと格安航空会社の登場で大きく変わる空の旅の現状と今後を解説する。今、佐賀空港が注目されているのが、海上空港のような特徴を生かして騒音問題の少なさを利用した深夜貨物便の就航である。苦肉の策であったが、このことが結果としてヒットだったとされている。

